

## 設問1

GCS(Glasgow Coma Scale)、JCS(Japan Coma Scale)について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	GCSは開眼、聴覚反応、運動反応の3つの要素に分け評価される。
A2	頭部外傷においてGCSによる重症度判定では、軽症:14-15, 中等症:9-13, 重症:3-8とされる。
A3	GCS、JCSは鎮静薬や筋弛緩薬を投与されている場合は評価に影響するため、薬剤が中断されているときに評価する。
A4	JCSは「覚醒度」を中心とした単軸尺度であり、医療従事者間で意識レベルの推移を共有しやすい。
A5	GCSでは除皮質硬直肢位と除脳硬直肢位を区別し評価する。

## 正解 A1

GCSでは、意識を開眼、言語反応、運動反応の3つの要素に分け、開眼に要する刺激の強さ、言語応答の内容(言語音声反応)、刺激に対する運動反応のパターン(最良運動反応)によって評価する。JCSは「覚醒度」を主軸に評価し、「自発的に覚醒している」、「刺激を加えると覚醒できる」、「刺激を加えても覚醒しない」と3段階に分類し、さらにそれぞれを3段階に小分類し評価する。

## 設問2

集中治療後症候群(post intensive care syndrome:PICS)について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	PICSはICU退室後も残存する運動機能、認知機能、精神障害である。
A2	ICUで治療される重症患者の家族の精神障害は含まれない。
A3	PICSの運動機能障害の一因にICU獲得性筋力低下(ICU-acquired weakness)がある。
A4	PICSはICU入室中だけでなくICU退室後、長期的に残存する障害である。
A5	PICSの精神障害には不安・うつ・心的外傷後ストレスが含まれる。

## 正解 A2

PICSとはICU在室中あるいはICU退室後、さらには退院後にも生じる運動機能、認知機能、精神障害で、ICU患者の長期予後のみならず、患者家族の精神障害も含まれる。

## 設問3

意識障害を評価するComa Recovery Scale-Revised(CRS-R)について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	CRS-Rは①聴覚機能、②視覚機能、③運動機能、④言語・口腔機能、⑤コミュニケーション、⑥覚醒の6項目から構成される。
A2	評価項目は脳幹、大脳皮質下、大脳皮質機能の階層性をもって構成されている。
A3	GCS、JCSで評価できない変化を捉えることができる。
A4	CRS-Rは国際的に使用されており、日本語版も作成されている。
A5	無反応覚醒症候群や最小意識状態など意識障害の変化を捉えにくい。

## 正解 A5

CRS-Rは①聴覚機能、②視覚機能、③運動機能、④言語・口腔機能、⑤コミュニケーション、⑥覚醒の6項目から構成され、無反応覚醒症候群や最小意識状態など意識障害を詳細に評価し意識障害の変化を鋭敏にとらえることができる評価法である。

#### 設問4

脳卒中急性期における治療について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	病態を問わず合併症予防のため発症24時間以内に離床含めたリハビリテーションが推奨されている。
A2	脳卒中急性期の患者では、速やかに意識障害の評価を行い、定期的に意識レベルの変化を観察する。
A3	脳梗塞急性期の高血圧は降圧しないように勧められている。
A4	早期離床が困難な脳卒中患者ではDVTを予防するために理学療法(下肢挙上、マッサージ、足関節運動)を実施する。
A5	高血圧性脳出血の急性期における血圧高値をできるだけ早期に収縮期血圧140mmHg未満へ降圧することが推奨されている。

**正解** A1

脳卒中治療ガイドライン2021では合併症を予防し、機能回復を促進するために、24～48時間以内に病態に合わせたリハビリテーションの計画を立てることが勧められている。

#### 設問5

ICU獲得性筋力低下(ICU-acquired weakness)について誤っているものはどれか、1つ選べ。

A1	重症疾患の発症後に出現するびまん性筋力低下である。
A2	筋力低下はびまん性(近位・遠位筋共に)、左右対称性、弛緩性に呈する。
A3	重症疾患と関連なく、脳卒中による運動神経麻痺は原因の一つである。
A4	24時間以上あけて2回以上行ったMRCスコア(medical research council score)による筋力評価が48点未満もしくは平均スコアが4点未満が基準となる。
A5	ICU-AWIはADL、QOL、生存率と関連する。

**正解** A3

ICU-AWIは敗血症など重症疾患による治療でICUへ入室後、急性に左右対称性の筋力低下を呈する症候群であり、集中治療後症候群(PICS)の原因となる。MRC筋力スケール(肩関節外転、肘関節屈曲、手関節背屈、股関節屈曲、膝関節伸展、足関節背屈の筋力を0～5点のMMTで評価)にて48点未満が基準となる。